

DTX+HER療法（3週毎）

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
デキサメタゾン注	6.6mg	30分	↓																				
ドセタキセル注	60mg/m ²	2時間	↓																				
トラスツズマブ注	*1	30～90分	↓																				
デキサメタゾン錠 ^{*2}	4mg/day	1日1回 朝食後		↓	↓																		

*1：初回は8mg/kg、2回目以降は6mg/kg。速度は別途指示あり。

*2：血糖コントロールにより中止することがある

■副作用への対応

発熱、悪寒（Infusion reaction） ----- 点滴中～投与後24時間以内に発現する。指示された解熱薬を使用する。（トラスツズマブ）

心機能低下 ----- 繰り返し点滴することにより労作時の呼吸困難、下肢浮腫、急激な体重増加などの症状が現れることがあるため、定期的に心エコー検査を行う。（トラスツズマブ）

悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。

味覚変化 ----- 味覚変化のために食事を摂りづらい時は、味付けなどを工夫しながら食べる。

口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。

好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。

関節痛・筋肉痛 ----- 点滴後、関節痛や筋肉痛を感じることもある。痛みが強い場合は鎮痛剤を使うことがある。

爪の変形 ----- 繰り返し点滴することにより爪の変形や変色が起こることがある。清潔に保ち、強い力をかけないようにする。

脱毛 ----- 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。

浮腫 ----- 繰り返し点滴することにより顔や足に浮腫が起こることがある。

■その他

発熱性好中球減少症の発症抑制のためにペグフィルグラスチムを使用することもある。

化学療法終了後24時間以降、1コースあたり1回3.6mg皮下注。